

初めに—————10

## 第1章 外国語学習は、神経回路の再組織化——17

外国語学習とは、何をする事か？ 18  
学習とは、2つ、または、それ以上のニューロン  
(神経細胞)を結びつける鎖を作る事である 19  
どのようにして神経回路は出来上がるか？ 19  
記憶の定着には反復刺激が必要 20  
神経細胞には先験的記憶がある 21  
作られなければならない神経回路の数と種類は？ 22  
日本人の脳と外国人の脳 24

## 第2章 日本人が外国語を苦手としている理由——27

日本人の外国語の実力は？ 28  
なぜ日本人の成績は良くないか？ 29  
外国語習得を左右する3つの要因 30

### I. 母国語と学習言語の性格——30

- A) TOEFL 成績表の分析 30
- B) 日本語とヨーロッパの言語の性格の相違 33
- C) 外国語に対する母国語の干渉 45

### II. メソッド (学習法) ——52

メソッドとは何か？ 52  
なぜメソッドが必要か？ 53  
日本人のためのメソッドが必要 56

## III. 学習者の性格——57

性格が外国語習得の可否を決める 57  
外国語習得を妨げる恥の文化 57  
恥をかこう 58  
日本人の閉鎖性 58  
外国語学習には“外国が好き”の感情が必要 59

## 第3章 外国語学習15の違い——61

- 〈間違い・その1〉“発音なぞどうでもよい” 62
- 〈間違い・その2〉目に頼る勉強法 66
- 〈間違い・その3〉諸悪の根源；英文和訳，和文英訳 69
- 〈間違い・その4〉“英語なんて簡単，  
単語を並べさえすればよい” 76
- 〈間違い・その5〉“表現を覚えさえすれば，  
外国語は話せる” 80
- 〈間違い・その6〉“外国語は暗記物” 81
- 〈間違い・その7〉“文法を考えるから，  
会話ができない” 84
- 〈間違い・その8〉“文法を全部，習ってからでないと，  
会話の勉強は始められない” 86
- 〈間違い・その9〉“辞書は何回でも引け！” 88
- 〈間違い・その10〉多すぎる教材，早すぎる進み方 91
- 〈間違い・その11〉読み，文法，作文をそれぞれ  
異なる先生が教える 94
- 〈間違い・その12〉“外国語がうまくなりたかったら，  
日本語をもっと勉強しろ” 95
- 〈間違い・その13〉“外国語学習は，テクニックの習得” 98

〈間違い・その14〉 中学から始まる英語教育,  
これでは遅すぎる 100  
〈間違い・その15〉 “外国語マスターの鍵は、頭の良さ” 102  
結論 104

## 第4章 効率の良い科学的メソッド ————— 109

### I. 発音を学ぶ — 110

1. まずテープだけを買う 111
2. テープを毎日、必ず聞く 112
3. テープを編集し直す 113
4. ただ聞くだけでなく,  
自分でもテープと一緒に唱える 114
5. 発音練習を徹底的にやる 114
6. 発音記号を学ぶ 116

### II. 論理的に考える — 117

#### A) 品詞を考える 121

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 名詞 121  | 2. 冠詞 125  | 3. 代名詞 134 |
| 4. 形容詞 142 | 5. 動詞 146  | 6. 前置詞 153 |
| 7. 副詞 156  | 8. 接続詞 158 |            |

#### B) 機能を考える 160

- 文の構造 161  
機能 162  
機能1：主語 166  
機能2：直接目的語 168

- 機能3：間接目的語 170  
機能4：名詞補語 173  
機能5：形容詞の機能 174  
機能6：形容詞補語 174  
機能7：状況補語 176

#### C) 文の構造を考える 179

1. 主語+BE動詞+名詞(代名詞) 180
  2. 主語+BE動詞+形容詞 181
  3. 主語+自動詞 181
  4. 主語+他動詞+直接目的語(対格目的語) 182
  5. 主語+他動詞+間接目的語+直接目的語 182
- 文の組み立て方 185

#### D) 分析の実例 188

#### E) 読み方 195

## 第5章 勉強の仕方についてのアドバイス ————— 201

### I. テープ・レコーダーを最大限に利用する — 202

- a) どのようなテープが良いか? 203
- b) 既製のテープを編集し直す 205
- c) 気が狂うほど、テープを聞く 205
- d) 文法の規則を考慮して外国語を聞く 206

### II. 単語の覚え方 — 207

- a) 単語は文章の中で覚える 207

- b) 単語の意味は、日本語ではなく、  
学習言語で覚える 208
- c) 派生語、反意語も覚える 209
- d) ポキャブラリーは、どれだけ必要か？ 211
- e) 正確な発音で単語を覚える 212
- f) 物を指さして単語を覚える 213
- g) ジェスチャーをして単語を覚える 213

### III. 練習問題を数多くやる — 214

- a) 同じ練習問題を何回もやる 214
- b) 練習問題は、声に出してやる 215

### IV. できるだけしゃべる — 215

- a) 外国人教師による3つのアドバイス 215
- b) 外国語は、話すことによって進歩する 216
- c) 外国語学習のスタート時から、外国語を話す 217
- d) 外国語を話そうとする時に、日本語を口走るな！ 218

### V. 書き取りをやる — 219

- a) すでに学習したテキストの書き取りをする 220
- b) 教科書以外のテープで書き取りをする 220
- c) 聞こえた文章を声に出して書く 221
- d) 文章を理解しながら書く 221
- e) 間違いのチェックを分析でやる 222
- f) 急いで書け 222

### VI. 作文をする — 223

- a) 教科書のテキストを利用しよう 224
- b) すでに習った単語や表現を書き出して、利用する 225

- c) 日本語からの翻訳をやってはならない 226
- d) 書けないことは、書かない 226
- e) ネイティブ・スピーカーの生徒が使う  
作文の教科書（参考書）を利用する 227
- f) 自分が書いた文章を分析してみよう 228

### VII. 文法は日本語ではなく、学習言語で覚える — 229

### VIII. 勉強の手順 — 232

- a) 教科書を見ずに、テープを何十回も聞く 232
- b) 辞書を引かずに、テキストを音読し、  
その内容を探ろう 233
- c) 品詞と機能をチェックする 234
- d) 同じ練習問題を何回もやる 234
- e) 書き取りをやる 235
- f) テキストを朗読して、テープに吹き込んでみる 235
- g) 予習は完璧にやる 235

### IX. 外国語が話せるようになる勉強法 — 236

- a) 何よりも発音練習が必要 237
- b) テープを毎日、聞く 238
- c) 文の構造を考えて話す 238
- d) 相手の言葉を繰り返し唱え、  
相手の言葉を利用して話す 239
- e) 言えないことは、言わない 241
- f) 頭の柔軟性が必要 242
- g) テレビ、ラジオを大いに利用しよう 243
- h) とにかく外国語を話そう 245

## 第6章 留学は絶対に必要 ————— 247

### I. 留学はなぜ必要か? — 248

- a) 異境の風土の中に身を置く 248
- b) 外国で生活をする 250
- c) カルチャー・ショックを受ける 250
- d) 政治, 社会問題に無関心ではいられなくなる 251
- e) 日本について勉強する 252
- f) 日本を外から眺められる 254
- g) 日本での教育と異なる教育を受けられる 255

### II. 留学という特効薬が効かない人もいる — 259

- a) 心を閉ざしている 260
- b) パーティや修学旅行が嫌い 260
- c) 趣味を持たない 260
- d) 日本食しか食べられない 261
- e) 郷に入っても, 郷に従わない 262
- f) あくまでも日本語にこだわる 263

### III. いつ留学するのか? — 264

- a) 早ければ早いほど良い 264
- b) 12歳以前に留学すれば,  
ネイティブ・スピーカーになれる 265
- c) 子供の適応能力はすばらしい 265
- d) 大学入学以前と以後でも, 大きな違いが出る 265
- e) 大学1年で, 英語の短期留学をしよう 266
- f) 1度しか留学できなければ, 大学2,3年で

短期留学をする 267

- g) 留学前の海外旅行は, 留学の準備となる 267
- h) 外国語会話の必要にせまられた人の  
外国語学習はうまくいかない 268
- i) 海外勤務の人事は,  
4年前に決定すべきである 268
- j) 大学生は, 留学して, 在学中に最低1つの  
外国語を物にしよう 269
- k) 家庭の主婦なら, 2週間でも留学しよう 270

## 終わりに ————— 271

良い学校, 良い先生 272

外国語上達に関する法則 275

心を広げるトレーニング 279

装幀・鈴木邦治